

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第1回川越市スポーツ推進審議会
開催日時	令和6年2月7日(水) 午後1時30分 開会 ・ 午後2時40分 閉会
開催場所	川越市役所 7A 会議室
議長(委員長・会長)氏名	議長 牛久保 努
出席者(委員)氏名(人数)	会長 牛久保 努 副会長 山田 上 委員 金澤 勝、小松 正彦、高篠 昭夫、羽田 聡、 眞下 英二、横田 等 (8名)
欠席者(委員)氏名(人数)	委員 新家子 直之、秦 重美 (2名)
事務局職員・氏名	文化スポーツ部 部長 宮寄 有子 スポーツ振興課 課長 鍛冶 良知 同 副課長 野村 博之 同 副主幹 田中 宏明 同 主事 新井 笑美子 スポーツアドバイザー 伊藤 博義
会議次第	1 開会 2 部長あいさつ 3 会長及び副会長の選出 4 報告事項 (1)令和5年度実施事業について (2)大東 BMX・スケートボードエリアについて (3)第三次川越市スポーツ推進計画の進捗について (4)川越市スポーツ意識調査について 5 その他 6 閉会
配布資料	資料1「令和5年度 スポーツ振興課 実施事業報告」 資料2「大東 BMX・スケートボードエリアについて」 資料3「第三次川越市スポーツ推進計画の指標(過去五年の経緯)」 資料4「令和5年度 川越市スポーツ意識調査」

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>1 開 会 事務局より川越市スポーツ推進審議会条例(以下「条例」という。)第5条第1項の規定により、委員の過半数の出席があるため、会議が成立する旨説明があり、開会となった。</p>
	<p>2 あいさつ 宮 寄 有 子 文化スポーツ部長</p>
	<p>3 会長及び副会長の選出 条例第4条第2項の規定により、会長に牛久保努委員を、副会長に山田上委員を選出。 －牛久保新会長よりあいさつ－ ・条例第4条第3項に基づき、牛久保会長を議長に選任。 ＜傍聴について＞ ・「川越市附属機関等の会議の公開に関する実施基準」及び「川越市スポーツ推進審議会の傍聴に関する要領」に基づき会議は公開にしたいが、いかがか。 －異議なし、会議は公開、傍聴人なし－</p>
議長	
	<p>4 報告 (1) 令和5年度実施事業について 【資料1に基づき説明】</p>
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は5月にコロナウイルス感染症が5類になり、社会活動も従前に戻りつつあるため、実績値が前年度より増えるのは当然であると言える。今後は実績値の提示だけでなく、参加人数を増やすために何に取り組んだのか、創意工夫した点やPR方法等を説明してほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・プール開放は一般開放か。また、当日の運営は市職員と対象校の教員が対応しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・一般開放である。学校プール開放(市内2校)は川越市水泳協会、川越市スポーツ推進委員、市職員で対応し、霞ヶ関北小プール開放は業者に委託している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市営プールがないので需要は高いといえる。熱中症対策等の問題はあと思うが、可能な限り多くの地域、多くの学校でプール開放を実施していただけるよう、検討していただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み市民ラジオ体操会の参加が大きく増えている理由は

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>コロナ禍明けという理由のみか。来年も同等の参加者が見込めるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年は猛暑による中止も多いが、コロナによる規制が緩和されたことで、来年度も同じくらいの参加になるのではないかと予測している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍前後で社会の状況は大きく変わり、実施されなくなった慣習や事業がたくさんある。活動を途絶えさせないためには、実施主体となる団体が今後どの様に事業を続けていくのかを明確に示すことが大切である。
事務局	<p>(2)大東 BMX・スケートボードエリアについて</p> <p>【資料2に基づき説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外の方にも多く利用いただいていることがわかる。今後も利用者の推移を見ながら、施設の盛り上がりを楽しみにしたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後この施設でイベントを企画する予定はあるか。また、関係団体との接触はあるか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な予定はないが企画したいと考えており、愛好者団体等と話を進めたいと思っている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、スケートボードやBMXの施設を設置することになったのか。市民に需要のある施設であるべきだが、利用者の70%が市外からとなっている。また、せつかくなら公式基準等に則った大規模な大会の開催が可能な施設など、周囲が憧れるような施設づくりをすべきではなかったのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・川越増形地区産業団地の整備にあたり、産業団地内の調整池を活用した新たな施設の設置を県に要望したものである。調整池の規模に合わせて、また、調整池としての機能を損なわないようにつくられたものである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・データを基に何をするのが大事である。もっと川越市民に利用してもらうにはどうすればよいのかを考えていくことが必要である
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・川越市民がより多く利用出来るよう、広くPRしてほしい。
事務局	<p>(3)第三次川越市スポーツ推進計画の進捗状況について</p> <p>【資料3に基づき説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度及び3年度の数値はコロナ禍の影響があったものと思える。令和4年度以降、今後は目標値に近づくと
議長	

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員	う解釈でよいかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・川越運動公園の施設利用者数等、コロナ禍前の活動に戻っていることを考えると、今年度すでに令和7年度の目標数を超えているのではないか。 ・コロナ禍を経て、利用者の考え方にも変化があり、必ず以前の数値に戻るとは限らないが、引き続き調査・分析をしていきたい。
議長	<p>(4)川越市スポーツ意識調査について 【資料4に基づき説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査票については明日発送となるようである。次回の審議会では、集計結果に基づいた議論ができると考えている。
委員	<p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会を開いただけで終わらず、施設の増設や改修等を多くの人が希望していることを踏まえて、施策に反映してもらいたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツを誘致できるような施設が川越にはない。川越でスポーツに力を入れている企業や団体はたくさんある。しかし、最終的に施設がないから他市へ行ってしまうと考えている。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・川越市が誇れるスポーツ都市になれるよう、若い人に繋がるような事業展開をしていただきたいと思いますと思う。
	<p>6 閉会 山田 上 副会長</p>